日本の文化が詰まった石岡へ、東京からわずか1時間！

海外からの
旅行者が
あまり訪れない
穴場スポットへ
すぐ行ける！

石岡へのアクセス

約1時間

東京 — JR常磐線 — 上野 — 我孫子 — 土浦 — 石岡 — 友部 — 水戸

JR 浜松町 — 東京モノレール — 羽田空港

品川 — 京急本線 — 羽田空港

我孫子 — JR成田線 — 成田空港

バス 石岡 — 茨城空港

常磐自動車道 東京 — 三郷JCT — つくばJCT — 石岡 — 友部JCT — 水戸

圏央道 — 成田空港

発行：石岡市経済部観光課　茨城県石岡市石岡一丁目1番1号

茨城県石岡市

Just One Hour from Tokyo

常陸國總社宮例大祭

石岡のおまつり

feel

誰も気づかなかった日本に、
すぐに出会える。

1300年前の奈良時代、石岡は常陸国の国府で、政治・文化の中心地として栄えました。
国府の長官である国司は、国内の神々を合祀した常陸國總社宮で国の安寧を祈願することも
政務であったとされています。国府の祭祀は近世以降、地域の人々によってさまざまな要素を加えながら
発展し続け、「石岡のおまつり」として今に受け継がれています。

ようこそ、
1300年の時が流れる
歴史のまち、石岡へ。

Feel
Ishioka
Festival

「石岡のおまつり」は、関東の三大祭の一つと称され、毎年多くの人々で賑わいますが、
海外の方にはあまり知られていません。「東京から1時間の近場なのに。日本の文化を
気軽に愉しめる石岡の魅力を、多くの観光客に感じてもらいたい」。
そう語るのは、カナダ出身で日本の下町育ちのモデル、カーリーさん。
彼女の感性を揺さぶった石岡の祭りの文化をご紹介します。

「石岡のおまつり」の概要

約二千人の供奉行列が伝統とともに歩みを進める。

国府の祭祀として始まった例大祭は、近世以降さまざまな要素が加わり発展してきました。江戸時代中期の延享年間(1744〜1748)に奉納相撲が加わり、明治時代には裕福な商人層による豪華な出し物が街なかを練り歩く、現在の「石岡のおまつり」の基礎が固まりました。毎年9月15日には「例祭」が行われ、敬老の日を最終日とする3日間に「神幸祭」「奉祝祭」「還幸祭」が開催されます。常陸國總社宮の氏子区域のうち15町内では一年交代で年番町となり、町内に仮殿を造営して御祭神をお迎えします。その行程を神輿を中心とした約二千人の供奉行列が伝統の囃子とともに進む姿は圧巻です。

例祭	毎年9月15日の午前10時、神社本庁の祓幣使を迎え、最も重要な祭典が執り行われます。
神幸祭	大神輿が年番町の仮殿へとお出まし。山車や榻獅子とともに約2千人が供奉します。
奉祝祭	總社宮で相撲や神楽が奉納され、御幸通りでは山車や榻獅子が集合し大行列を行います。
還幸祭	神輿が仮殿から離れ本殿に戻る日。その名残を惜しむように夜までお囃子を響かせます。

露祓を担う土橋町、仲之内町の獅子や
冨田町のささらが總社宮から出発します。

奉祝祭では江戸時代より続く
奉納相撲が執り行われます。

神社での参拝のマナーをチェック!

手水の方法

- 右手で柄杓に水を汲み、左手を清めます。
- 柄杓を左手に持ち替え、右手を清めます。
- 左の手のひらに水を受け、口をすすぎます。
- 再度左手を清め、柄杓を立てて柄に水を流して戻します。

拝礼の方法

- 姿勢を正し、2回深いお辞儀をします。
- 両手を合わせ、2回拍手をします。
- 最後にもう1回深いお辞儀をします。

VISIT

常陸國總社宮

茨城県石岡市総社 2-8-1
JR石岡駅から徒歩20分
www.sosyagu.jp

MAP number 1

「石岡のおまつり」の見どころ

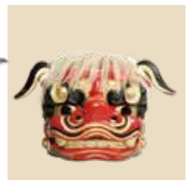
日本でも珍しい
幌獅子の勇壮なる競演。

獅子舞は日本各地で見られるものですが、石岡の「幌獅子」は、大きな獅子頭に移動式の小屋が付随した日本でも大変珍しいものです。大きいもので幅60cm、重さ30kgにも達する獅子頭を各町内の名手が一人でかぶり持ち、小屋の囃子衆が奏でる大太鼓・小太鼓・笛・鉦(しょう)に合わせて舞いながら進んでいきます。獅子の顔、舞い方、小屋を覆う幌の色はそれぞれ異なり、実にさまざまな趣があります。今や「石岡のおまつり」のシンボルとなっている幌獅子は必見。その勇壮な姿をぜひご覧ください。

12台の山車と32台の幌獅子が街を練り歩きます。

踊りを奉納し大神輿の露祓を行う冨田町の三匹の獅子ささら。
茨城県指定無形民俗文化財、石岡市指定有形民俗文化財に指定されています。

町内によって異なる獅子の顔つきをチェック！



「常陸風土記の丘」の巨大な獅子頭に会いに行こう！
高さは14mもあるんですよ。

ちょっと番外編！

常陸風土記の丘
茨城県石岡市染谷 1646
3月～10月 9時～17時、
11月～2月 9時～16時 休月曜日

VISIT

祭り期間中は
市内のメインストリートで
見ることができます。

MAP number 2

「石岡のおまつり」の見どころ

石岡の人々の心から心へ。受け継がれる山車と石岡囃子。

幌獅子の他にも行列で注目したいのが山車。石岡の山車は江戸型と呼ばれる屋根のない二層〜三層の構造です。最上層には町内ごとに異なる2mもの人形が飾られます。人形は第一代天皇の神武天皇や八幡太郎（源義家）など、歴史上の英雄を象ったもの。その前面の舞台では、大太鼓や笛などによる石岡囃子と踊りが演じられます。踊りはゆっくりとした「おかめ」、リズミカルな「ひょっとこ」、テンポの速い「きつね」の演目が演じられ、町内によって得意な演目や見せ場があります。獅子、山車、ささらの囃子は石岡囃子と称され、茨城県の無形民俗文化財に指定されています。

VISIT

祭り期間中は
市内のメインストリートで
見ることができます。

MAP number 3

Interview

「石岡のおまつり」でお囃子の笛を吹く菊地祐子さんに祭りの魅力について聞きました。

伝統の祭りの文化とともに生きる喜び。

カーリー：石岡のみなさんはお祭りにとても思い入れがあると聞きましたが、菊地さんもやはりそうなんですか？

菊地：盆と正月には帰省できなくても、お祭りには必ず帰るというほど、みんな熱い想いで臨んでいます。私もここで生まれ育ち、お祭りを幼い頃から見てきたので、自然とお祭りの血が騒ぐというか。お囃子が聞こえると身体が勝手に動くほど。毎年心待ちにしていますよ。

カーリー：お囃子の笛はいつから？

菊地：始めたのは10歳です。町内の笛の先生に週２回ほど教えていただき練習していました。山車に乗って吹けるようになったのは14歳。その時はもう本当に嬉しかったですね。山車の上に立つのはみんなの憧れでしたから。

カーリー：笛の演奏は難しいんですか？

菊地：和楽器は学校で吹くリコーダーとは全く違って、ドレミの音階ではないので入りにくかったですね。楽譜もなく、笛の先生の吹く音を聴いて、指の動きを見て覚えるんです。「おかめ」「ひょっとこ」「きつね」の３曲を身体で覚えるのに私の場合、時間がかかりました。

カーリー：笛の先生や先輩から教わったりして、お祭りの一つひとつのことがそうして伝えられていくんですね。

菊地：「石岡のおまつり」は数百年かけて世代から世代へ受け継がれ、育まれてきた民衆の文化です。人々の想いや誇りが詰まった伝統の先端に、いま私は笛を吹いて立っているんだと、最近そう思うようになりました。

カーリー：菊地さんもこれからは伝えていく番ですね。

菊地：ええ。私の子どもはまだ小さいですが、これからいろんなことを教えてあげたいですね。そして祭り本番でしか味わえない特別な高揚感を感じてもらいたいと思います。それに、祭りに向けた日々の練習や準備の中で、人と人がつながることの大切さにも気づいてもらえたら嬉しいです。

カーリー：確かに、お祭りは一人ひとりが手と手を合わせないとできないですからね。

菊地：心と心をつないでくれる。祭りってそういうものだと思うんです。

祭りの合間に行きたい！趣あるお店で日本を体感しよう！

日本の駄菓子をおやつに

江戸時代末期の染物屋の建物を活かし、民芸品の展示や特産品を販売。おやつにかき氷や駄菓子はいかが？

まち蔵 藍
石岡市国府 3-5-6
祭り期間中 11:00～21:00

MAP number 4

昔ながらの喫茶店の味わいを

ランチは昭和の時間が流れる昔ながらの喫茶店で。メニューも豊富。古き良き喫茶店ならではの味わいを堪能できます。

紫園
石岡市国府 3-5-3
祭り期間中 10:00～21:00

MAP number 5

心落ち着く蔵で抹茶を一服

昭和初期の米蔵を改造した和カフェ&ギャラリー。アートに囲まれながら抹茶とお菓子をゆっくりお楽しみください。

香丸資料館
石岡市府中 1-4-14
祭り期間中 11:00～21:00

MAP number 6

石岡の日本酒をあれこれ

元寿司職人の店主による魚料理と地元の旬の食材を使った料理が自慢。石岡にある4つの酒蔵の日本酒も楽しめます。

呑乷(のんき)
石岡市国府 2-2-14
祭り期間中 12:00～21:00

MAP number 8

市街地のレトロな建物、「看板建築」もチェック！

中町通り周辺に多く見られるレトロな建物は「看板建築」といい、主に東京や関東周辺で関東大震災後に用いられた建築様式。職人たちが西洋の様式や意匠をもとに、日本の技術で新たに創り上げた日本独自の庶民の建築様式です。

MAP number 7

日帰りじゃもったいない！一泊してゆっくり石岡を観光してみよう！

歴史スポットもいっぱい！

のんびり温泉も！

筑波山を見ながら空中散歩！

詳しい観光スポットはこちら！

おまつり・観光のお問い合わせ

石岡市観光案内所

TEL

0299-24-5001